

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 1

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	市民が週1回以上、何らかのスポーツ・レクリエーションに関わり、継続的に実践するためのきっかけづくりとして、教室・大会等を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	市民が週1回以上、何らかのスポーツ・レクリエーションに関わる機会（教室や大会の実施）を提供するため、減少傾向にある参加者数を増やす対策を検討する。							
令 和 5 年 度 実 績	教室・大会の総参加者数が、7,934人であった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 市主催の教室・大会・イベントへの参加者数						【説明】 市主催の教室・大会・イベントへの参加者数により、市民のスポーツ・レクリエーションに対する関心度を判断するもの。	
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		7,732	平時	平時				9,870
		R 2 有事	5,319	7,934				R 8 有事
		1,610						1,880
自 己 評 価 の 主 な 理 由	令和5年度はほとんどの教室・大会を実施することができ、(荒天での中止は除く。)昨年度と比較しても事業への参加者も増加傾向にあるため。							
課 題 及 び 改 善 点	コロナ禍と比較して参加者は増加しているが、コロナ前より人数は減少している事業もある。事業への参加者がコロナ前に戻るよう対策を検討する。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 1

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーション事業の推進						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	健康増進を目的とした、ラジオ体操などの事業や、駅伝競走大会などの競技力向上及び目的達成度を確認する大会を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	スポーツ・レクリエーション事業・大会についてはコロナ禍以前と同程度、実施することができたが、今後は例年実施している事業・大会の実施のみならず、市民のニーズや市の方針に合わせ、廃止や新設を含めて、事業・大会の企画を検討していく。							
令 和 5 年 度 実 績	スポーツ・レクリエーション事業・大会を18事業実施することができた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難						【説明】	
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時				-
		R 2 有事	-	-				R 8 有事
		-						-
自 己 評 価 の 主 な 理 由	今年度予定していたスポーツ事業については、ほとんど実施することができたため。(荒天による中止が1件)また新たなイベントの開催もできた。							
課 題 及 び 改 善 点	令和5年10月に入間市スポーツ振興まちづくり条例を制定したことに伴い、新たなスポーツ大会の開催、市民のニーズに合わせた廃止など、事業・大会の検討をする。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	関係団体との連携						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	市民のスポーツ活動の充実を図るため、市スポーツ協会や市スポーツ推進委員協議会等と連携をとり、事業等を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	市スポーツ協会との連携を図り、市民のニーズに合った新しい教室・大会の実施やニーズがなくなってしまう教室・大会の代替え案等を模索すること。							
令 和 5 年 度 実 績	市主催の事業について、市スポーツ協会と共催開催することで、保険料の支払いや事業実施の判断など、連携を図り実施することができた。また、市スポーツ推進委員と連携をとり、モルック教室やその他大会の運営を実施することができた。民間の施設・団体との協力を得て、クライミング体験教室や各スポーツの体験イベントを実施することができた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難				【説明】			
	単位	現状値	実 績 値				目標値	
指 標 の 推 移	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時				-
		R 2 有事	-	-				R 8 有事
		-						-
自 己 評 価 の 主 な 理 由	市スポーツ協会や市スポーツ推進委員等と連携して教室や大会を実施、民間の施設・団体と連携し新たなスポーツの教室や体験イベントを開催できたため。							
課 題 及 び 改 善 点	市スポーツ協会に加盟していないスポーツ団体とも連携を図り、新たなスポーツの教室や大会の実施を検討する。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーションの表彰						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	スポーツ振興を図るため、優秀選手や優秀団体の表彰や奨励を行っている。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	スポーツ賞の規定についても市スポーツ協会と今後見直しを行い、様々な方が受賞できるように進め、スポーツ振興を図っていく。							
令 和 5 年 度 実 績	スポーツ賞の受賞者が65名、奨励金の交付者が35件、155名であった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 スポーツ・レクリエーション大会出場選手奨励金の件数				【説明】 奨励金の申請件数により、市民の競技スポーツにおける活躍度を判断します。			
	単位	現状値	実 績 値				目標値	
指 標 の 推 移	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		29	平時	平時				40
		R 2 有事	34	35				R 8 有事
		4						8
自 己 評 価 の 主 な 理 由	奨励金の申請件数及び申請件数は昨年度より増加した。また、令和5年10月入間市スポーツ振興まちづくり条例を制定し、スポーツ賞の特別賞にてeスポーツの選手を表彰した。							
課 題 及 び 改 善 点	令和5年10月に入間市スポーツ振興まちづくり条例を制定したことに伴い、スポーツ協会に加盟していないスポーツに対しても表彰する必要がある。市スポーツ協会と調整し、スポーツ賞の規定の見直しを図る。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

施 策	(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	スポーツ推進課	A	A
	スポーツ・レクリエーション事業の推進	スポーツ推進課	A	
	関係団体との連携	スポーツ推進課	B	
スポーツ・レクリエーションの表彰	スポーツ推進課	A		
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実」に関し、本年度は多くの教室・大会を実施することができたのは大変喜ばしいことと考えます。</p> <p>今後、入間市スポーツ振興まちづくり条例のもと、多種多様なスポーツ関連活動に関する事業・大会の企画を期待します。</p>			

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	スポーツ指導者等の充実						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	スポーツ指導者及びレクリエーション指導者の資質の向上と活動機会の提供を図ることを目的に、指導者養成や資質向上つながる。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	スポーツ少年団など限られた指導者の養成だけでなく、部活動指導者やスポーツ団体指導者など指導者の資質向上に向けた講座等を開催する。							
令 和 5 年 度 績 実	スポーツ団体の指導者及び保護者向けの選手や子どもに対して前向きな声掛けを学ぶ「ペップトーク講座」や西武ライオンズとの協働事業で野球指導者向けの「コーチングクリニック」を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難				【説明】			
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時				-
		R 2 有事	-	-				R 8 有事
		-						-
自 己 評 価 の 主 な 理 由	スポーツ団体の指導者及び保護者向けの選手や子どもに対して前向きな声掛けを学ぶ「ペップトーク講座」を実施したが、参加人数が定員に至らなかった。また野球指導者向けの「コーチングクリニック」は野球に限定した事業であるため、他の競技の指導者向けの事業を実施できなかったため。							
課 題 及 び 改 善 点	限られた指導者の養成だけでなく、部活動指導者やスポーツ団体指導者など指導者の資質向上に向けた講座等を開催する。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	スポーツ施設の整備						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	公共施設マネジメント事業計画に基づく、スポーツ施設の長寿命化及び非構造部材の耐震化を目的とした改修工事の計画的な推進。スポーツ施設を安心かつ快適に提供するための整備。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	令和3年度に実施設計を行った武道館・弓道場、黒須地区体育館の改修工事は令和4年度に予定していたが、財政事情により令和4年度に黒須地区体育館、令和5年度に武道館・弓道場の改修工事に変更した。							
令 和 5 年 度 績 実	令和3年度に実施設計を行った武道館・弓道場の改修工事を防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、2か年継続事業として着手した。運動公園プールの改修工事を2か年事業として着手した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 改修工事実施率				【説明】 年度で予定する改修工事の実施率			
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時				-
		R 2 有事	100	100				R 8 有事
		-						-
自 己 評 価 の 主 な 理 由	契約工期（武道：令和5年9月5日～令和6年12月20日、運動：令和5年11月20日～令和6年6月28日）内に着手し、遅滞なく次年度に継続したため。							
課 題 及 び 改 善 点	施設改修にあたっては、障害を持った方を含めた、だれもが利用しやすい施設を目指した改修を行う。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	地区体育館の活用						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	地区住民を中心とした地区体育館の円滑かつ柔軟な利用調整。地区住民の生涯スポーツ活動を促進するための事業実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍の影響による体調確認、施設利用人数の制限及び陽性者発生時の活動停止等を定めた使用ガイドラインの改定及び廃止で規制の緩和を行ったが、平時の利用状況には戻っていない。							
令 和 5 年 度 実 績	コロナ禍による注意事項について完全解除を行った。 ※1月末実績時点で令和4年度1月末実績 94,679 人を超える利用者数。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 地区体育館5館の利用者数				【説明】 地区体育館5館の利用者数合計			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		160,014	平時	平時				170,000
		R 2 有事	94,679	114,500				R 8 有事
99,179		※1月末実績	※1月末実績				100,000	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	令和4年度の利用者数と比べて増加しているが、平時の利用状況に戻っていないため。 ※令和5年度地区体育館改修工事の実施なし							
課 題 及 び 改 善 点	施設改修にあたっては、障害を持った方を含めた、だれもが利用しやすい施設を目指した改修を行う。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 3

主 な 取 組	学校体育施設の開放						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	学校体育施設開放事業（体育館・校庭）の円滑な実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍による利用制限の解除と学校教育活動に支障のない範囲での利用施設の拡充により、利用者数の増加を目指す。							
令 和 5 年 度 実 績	※1月末時点で令和4年度1月末実績 108,277 人に近い利用者数。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 学校体育施設の利用者数				【説明】 学校体育施設開放対象24校合計の年間利用者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		129,248	平時	平時				140,000
		R 2 有事	108,277	106,210				R 8 有事
63,059		※1月末実績	※1月末実績				70,000	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	令和4年度は黒須地区体育館、藤沢地区体育館の改修工事があり、その間地区体育館を利用していた団体が学校体育施設に流れ利用者が増加した。令和5年度は、地区体育館の改修工事が完了したため、学校体育施設の利用者が令和4より年度減少したため。							
課 題 及 び 改 善 点	新規に利用可能な体育施設における登録団体数の増加。							

施 策	(2) スポーツ環境の整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	スポーツ指導者等の充実	スポーツ推進課	B	B
	スポーツ施設の整備	スポーツ推進課	A	
	地区体育館の活用	スポーツ推進課	B	
学校体育施設の開放	スポーツ推進課	B		
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「スポーツ指導者等の充実」に関し、本年度「ペップトーク講座」及び「コーチングクリニック」を実施できたことは評価できます。しかしながら、参加人数が定員に至らない、あるいは野球以外の指導者向けの事業を実施できなかったことは残念に思います。次年度の事業実施に期待しています。</p> <p>なお、「政策5 スポーツ・レクリエーション」全体に関して、指標が指定困難となっている取組みが散見されますが、事業・講座等の実施回数や参加人数等により指標を設定していただくことも可能であると考えます。次年度の報告書作成の際に検討をお願いします。</p>			